

防+災

11/5は「津波防災の日」です

東日本大震災をはじめとするこれまでに受けた津波災害の教訓を忘れず、日頃から津波対策についての理解と関心を深めるため、平成23年6月に制定されました。これは、1854年(安政元年)の安政南海地震による津波の際に稲に火を付けて暗闇の中で逃げ遅れていた人々を高台に避難させて救った「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。この機会に、津波の心得を確認しましょう。



津波の心得

- ① 海岸・河川に近づかない！
注意報・警報が解除されるまで海岸や河川に近づかない。
- ② 津波のスピードは早い！
「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。
- ③ 満潮の時は要注意！
水位が高くなっているため、被害が大きくなります。
- ④ 津波はくり返し来る！
津波はくり返し襲ってきます。波が落ち着くまでは避難しておきましょう。
- ⑤ 引き潮がなくても注意！
津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。
- ⑥ 高い場所へ避難する！
海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。

減災・防災ガイドブックが寄贈されました

10月12日(金)、(社)沖縄県建設業協会中部支部の関係者の皆様が訪れ、同協会並びに(社)沖縄県建設産業団体連合会により発行された減災・防災ガイドブックを本市に対し4,400部寄贈いただきました。住民の防災意識の啓発に繋がるもので、本市の防災行政に役立ててまいります。



伊佐区 津波避難訓練報告会

10月23日(火)、伊佐区公民館において、同区で2月25日に行われた津波避難訓練の報告会が行われました。市民防災室から訓練報告を行うと共に、協力企業の㈱ソフトウェアトリからも報告が行われました。避難訓練での課題等についての区民との意見交換も行われ、今後の津波対策を構築する機会となりました。



問合せ：市民防災室 ☎893-4411 (内線319)

ユンタクセンター 自治会めぐり 19

宜野湾区自治会

☎892-3206

会長の仲村清と書記の新垣かおりです。字宜野湾は、戦後区民の一致協力の下、新しい宜野湾区づくりからスタートしました。昭和四十七年沖縄国際大学が区内に移転してきてからは、急速に人口が増え学園都市として都市化が進んでいます。今年は、戦後二度目の大綱引きを区民・地域の協力で成功を収めました。ぜひ、公民館に立ち寄ってみませんか。

公民館各種団体サークル

- ☆カラオケサークル(月曜日)
- ☆ミニデイサービス(火曜日)
- ☆子どもパソコン教室(水曜日)
- ☆民舞サークル(木曜日)
- ☆三線サークル(木曜日)
- ☆輪投げサークル(金曜日)
- ☆子ども三線教室(土曜日)
- ☆グラウンドゴルフ(火・木)
- ☆ゲートボール(殆ど毎日)

主な行事

| 3月 | 2月 | 1月 | 12月 | 11月 | 10月 | 9月 | 8月 | 7月 | 6月 | 5月 | 4月 | |
|---------|--------|-----------------------|------|------------------------|------|----------------|----------------|---------------|----------|-----|----------------|------------------------------------|
| 6年生を送る会 | 公民館まつり | 新春もちつき大会・新春グラウンドゴルフ大会 | 区内清掃 | 自治会親睦ソフトボール&グラウンドゴルフ大会 | 役員研修 | 支部対抗陸上競技大会・敬老会 | 子どもエイサー・青年エイサー | 区内清掃・夏休みラジオ体操 | 宜野湾区大綱引き | 慰霊祭 | 班対抗ソフトバレーボール大会 | 定期総会 このぼり掲揚式 子ども用「チチンドウール作り」 |

宜野湾区大綱引き(五年に一度)

